

第13回

日本医療情報学会看護学術大会

日時●8月4日(土)・5日(日)

会場●タワーホール船堀(東京都江戸川区)

テーマ●多職種協働を支える

プログラム●大会長講演「多職種協働を支えるIT」瀬戸僚馬(東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科)／特別講演「多職種協働による今後の医療福祉(仮)」高橋泰(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科)／シンポジウム1「システム導入・更新は業務プロセス改善のチャンス! (仮)」オーガナイザ:鎌田智恵子(東京医科大学病院看護部), 共催:医療情報ケアプロセス研究会／シンポジウム2「多職種協働時代における医療情報担当者の役割(仮)」オーガナイザ:成清哲也(東京医科大学病院医療情報室), 共催:関東医療情報技師会／ワークショップ1「日本の医療者が総力をあげて取り組むべき糖尿病の悪化防止にむけた情報共有と活用:MAP &パスが開く新たな世界」オーガナイザ:平井愛山(千葉県立東金病院), 共催:NPO 法人疾病管理・地域連携支援センター／ワークショップ2「今, 看護現場に潜在する危機を考える:看護情報システム／病棟看護現場に潜在するリスク」オーガナイザ:保坂良資(湘南工科大学), 共催:日本生体医工学会ユビキタス情報環境と医療システム研究会／ワークショップ3「患者を起点とした情報の利活用とそのあり方」オーガナイザ:中元雅江(岡崎市民病院), 共催:病棟情報システム研究会／ランチョンセミナー／一般演題／学生ワークショップ

参加費●日本医療情報学会会員 9000 円, 非会員 1 万円

問い合わせ●第13回日本医療情報学会看護学術大会事務局

E-mail ni2012@mail.jami-ni.jp

URL <http://www.jami-ni.jp/2012/>

日本看護協会神戸研修センター

主催セミナー

ナースのためのホスピス緩和ケア研修／第1部(研修番号 217)

日時●8月22日(水)～9月12日(水)のうち16日間

※第2部は実習(11月以降15日間)

会場●日本看護協会神戸研修センター(兵庫県神戸市)

応募要件●①ホスピス緩和ケア病棟, 一般病棟, 病院・診療所の外来, 在宅, 病院以外の高齢者福祉施設等で死にゆく過程を生きる人とその家族への看護に携わっている者, ②実務経験3年以上の者, ③上司の推薦がある者
参加費●一律6万8000円

申し込み●ホームページより

問い合わせ●日本看護協会神戸研修センター

TEL 078-230-3250(継続教育係)

URL <http://www.nurse.or.jp/nursing/education/training/index.html>

病院管理研究協会研修

看護管理研修 看護ミドルマネジャーコース(前期)

日時●8月7日(火)～10日(金)

会場●ホギメディカル本社ホール(東京都港区)

テーマ●魅力あり期待される看護部門の創出のために

プログラム●8月7日「コーチングを用いた部下とのコミュニケーション技法(1)・(2)」米本倉基(藤田保健衛生大学准教授), 8月8日「活気ある職場づくり——FISH哲学を通して(1)・(2)」小路美喜子(東京慈恵会医科大学看護管理理事)／グループワーク, 8月9日「リーダーに必要な概念化能力(1)・(2)」陣田泰子(済生会横浜南部病院院長補佐)／「病棟部門の安全対策と施設管理」寛淳夫(工学院大学教授), 8月10日「2012年診療報酬改定とチーム医療の重要性(1)・(2)」工藤高(MMオフィス代表取締役)

定員●先着60名

参加費●会員4万1000円, 非会員5万3000円

申し込み●専用申込書のFAXにて

問い合わせ●病院管理研究協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル

TEL 03-3352-2575

FAX 03-3352-2575

URL <http://www5.ocn.ne.jp/~byokan21/>

地域医療安全推進センター主催セミナー

1. 医療対話仲介者養成研修Ⅰ

日時●8月18日(土)・19日(日)

会場●海運ビル(東京都千代田区)

プログラム●患者家族と医療者間の円滑なコ

ミュニケーションを図り, 安全で良質な医療を提供することを目的とし, 担当者として患者家族からの相談等に対応するために, その業務遂行に必要な基礎的知識を学び, コミュニケーションスキルおよびメディエーショントレーニング, その他のトレーニングにより対応力を身につける。

定員●30名

参加費●3万円

申込締切●8月3日(金)

2. 医療安全管理者エキスパート研修

日時●8月23日(木)・24日(金)

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

プログラム●改めて医療安全管理者に期待されている役割や責任を見つめ直し, その責務に応えて, 職員個々の能力を結集して組織の“医療安全力”を高める取り組みを提供する。

定員●先着48名

参加費●3万円

申込締切●8月8日(水)

3. 医療安全トピックス研修Ⅰ——“Disclosure”における戦略

日時●9月8日(土)

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

受講料●1万3000円

申込締切●8月24日(金)

定員●80名

4. 部署リスクマネジャー育成研修

日時●9月9日(日)

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

プログラム●主体的に活動し医療安全管理者を支援できる部署のリスクマネジャー育成を目的として, 医療安全管理者の業務について学ぶことで部署のリスクマネジャーに期待される役割を理解し, リスクマネジャーとしての自分に何が期待されているのか, どのような支援が必要かなどについて, 主体的に考える機会を提案。

定員●先着60名

参加費●会員1万5000円

申込締切●8月25日(土)

【以下共通】

申し込み●Web サイト参照

問い合わせ●地域医療安全推進センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15F 地域医療振興協会

TEL 03-5212-9152

E-mail iryou-anzen@jadecom.or.jp

URL <http://www.jadecom.or.jp/info/detail>

html?pageid=253

第 16 回

日本看護管理学会年次大会

日時● 8月23日(木)・24日(金)

会場●札幌コンベンションセンター(札幌市白石区)

テーマ●^{あす}未来の医療を^{リード}する看護管理
プログラム●大会長講演「大学と臨床のコンソーシアムで医療を牽引(リード)する」中村恵子(札幌市立大学)／教育講演「一歩進んだ安全管理」橋本進生(横浜市立大学医学部附属病院医療安全管理学)、「看護政策に必要な医療経済学」兪炳匡(カリフォルニア大学デービス校医学部)、「看護師の働き方と経済性(仮)」金井 pak 雅子(東京有明医療大学)／シンポジウム『「雇用の質」の向上を目指した労務管理」田中誠二(厚生労働省労働基準局労働条件政策課)、鈴木康世(北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院)、別府千恵(北里大学病院)、関根富士子(株式会社ナイチンゲール)、「連携する——“看護師が牽引するチーム医療の現状と課題”」野口和子(国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院)、上田順子(旭川医科大学附属病院)、金萬文雄((財)宮城厚生協会坂総合病院)、堤嶋久子(市立札幌病院救命救急センター)／パネルディスカッション「看護職副院長は“医療をどのように牽引しているか”」山西文子(東京医療センター)、遊佐千鶴(湘南鎌倉総合病院)、増田えみ(大阪警察病院)、石谷邦彦(東札幌病院)、「これまでの看護マネジメントを自らの経験から振り返り、これからの方向性を他分野の経験者と共に学びあう」内山研一(大東文化大学経営学部)、鈴木聡(日本アクションリサーチ協会)、澤田幸子(北海道勤医協中央病院)、前田和美(慶応義塾大学病院)、初田賢司(株式会社日立製作所)、松尾時雄(旭硝子株式会社)、「看護師の新たな認証制度」島田陽子(厚生労働省医政局看護課)、山田雅子(聖路加看護大学看護実践開発研究センター)、廣瀬福美(介護老人保健施設鶴見の太陽)、高橋久美子(日本医科大学武蔵小杉病院)、有賀徹(昭和大学病院)、「新卒看護師の社会化」樋口春美(医療法人手稲溪仁会病院)、洪愛子(公益社団法人日本看護協会)、松浦和代(札幌市立大学看護学部)、佐藤淳(北海学園大学大学院経営学研究科 経営学部)、「看護とデザインのコラボレーション PartⅡ 快適療養環境を創造する」浅香崇

(日本インダストリアルデザイナー協会)、武藤藤子(医療法人財団荻窪病院)、樋之津淳子(札幌市立大学看護学部)、斉藤雅也(札幌市立大学 デザイン学部)、「臓器移植に関して」高橋絹代(公益財団法人富山県移植推進財団)、高橋美香(医療法人医仁会中村記念病院 ICU)、山本小奈美(福岡県済生会八幡総合病院急性・重症患者看護部門)、篠崎尚史(東京歯科大学市川総合病院角膜センター)／指定インフォメーションエクスチェンジ「看護必要度の監査体制」「高等学校と看護系大学との接続」「看護師以外の有資格者の活用と看護の質保証」「地域医療を促進させる看護管理者のネットワーク」「院内研修担当者のためのシナリオ作成ワークショップ」「看護職が起業を推進する」「老いと病いの文化研究所われもこう」／特別講演・公開講座「地域に根差す球団運営」藤井純一(元日本ハムファイターズ代表取締役、近畿大学経営学部)／ランチョンセミナー／一般演題(口演・示説)／インフォメーションエクスチェンジ／懇親会
参加費●会員 1 万 2000 円、非会員 1 万 3000 円、学生 2000 円
申し込み●ホームページより
問い合わせ●事務局
〒060-0011 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目 札幌市立大学看護学部
E-mail janap16@scu.ac.jp
URL http://janap16.umin.jp/

日本看護教育学学会 第 22 回学術集会

日時● 8月26日(日)

会場●千葉大学けやき会館(千葉市稲毛区)

メインテーマ●看護職者のキャリア発達とその支援

プログラム●会長講演「中堅看護師からのキャリア発達とその支援」亀岡智美(国立看護大学校)／演題発表および研究批評「『研修過程評価スケール——院内教育用』の開発とスケールを用いた評価活動の有効性検証——看護職者の教授活動改善に向けて」山澄直美(長崎県立大学)、「ベッドサイドの患者教育における患者・看護師間相互行為パターンの解明」森山美香(三重県立看護大学)、「勤務帯リダー役割遂行状況の質に係る特性」山品晴美(国立国際医療研究センター病院)、「看護師が行うクライアントの意思決定支援に関する研究」神田尚子(テル

モ株式会社)、「5 年一貫看護師養成教育課程に在籍する生徒の学習経験の解明」田嶋紀子(長野県看護大学)、「新人看護師が支持的・非支持的と知覚する先輩看護師の行動の解明」長岡波子(国立がん研究センター中央病院)／シンポジウム「看護職者としての基盤づくりとその発展を支える教育」山下暢子(群馬県立県民健康科学大学)・岩波浩美(同大)・塚本友栄(自治医科大学)・宮首由美子(自衛隊中央病院)／懇親会
参加費●学術集会 7000 円、懇親会 5000 円
問い合わせ●学会事務局
〒204-8575 東京都清瀬市梅園 1-2-1 国立看護大学校亀岡研究室気付
E-mail jasne22@yahoo.co.jp
URL http://jasne.umin.jp/

日本看護歴史学会 第 26 回学術集会

日時● 8月26日(日)・27日(月)

会場●日本赤十字看護大学(東京都渋谷区)

テーマ●災害の教訓から改革へ——私たちは何を伝えるべきか

プログラム●会長講演「被災と未災のあいだをつなぐ感性」川嶋みどり(日本赤十字看護大学)／特別講演「人が生きて行くことへの想像力——戦災、大震災を生きて」黒井千次(小説家)／公開シンポジウム「災害の教訓から改革へ——私たちは何を伝えるべきか」金愛子(石巻赤十字病院)、雅楽川聡(公立阿伎留医療センター)、齋藤裕基(株式会社ウェルファー あゆみ訪問看護ステーション)／ワークショップ「看護歴史研究方法を学ぶ」／一般演題／示説／懇親会

問い合わせ●事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字看護大学内

E-mail jsnh26-office@umin.ac.jp

URL http://rkango26.umin.jp

平成 24 年度日本医療・ 病院管理学会第 308 会例会 ヨーロッパと日本の交代制勤務

看護師の健康な働き方を考えよう

日時● 9月1日(土)

会場●聖路加看護大学(東京都中央区)

定員●100 名(当日参加可)

内容●ドイツ・フランス・イギリスの病院で働く看護師の勤務実態に関する調査結果を報告。また、日本で先駆的な取り組みをして

いる病院の事例も紹介し、看護師の交代制勤務のこれからを考える。

参加費●一般 2000 円、日本医療・病院管理学会会員／大学院生 1000 円、学部生無料（学生証をお持ちください）

問い合わせ●（担当：中村綾子）

名前、所属、連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX にて

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加看護大学

TEL 03-5550-2262

FAX 03-5550-2262

E-mail koutaisei@slcn.ac.jp

URL <http://www.slc.ac.jp/>

北海道医療大学看護福祉学部 学会第 9 回学術大会

日時●9 月 1 日（土）

会場●北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU（札幌市中央区）

テーマ●看護福祉学部 20 年のあゆみ

プログラム●講演「看護福祉学部の創設をえりみて」中島紀恵子（北海道医療大学名誉教授）／シンポジウム「看護福祉の近未来を読む——創造から跳躍へ」阿保順子（長野県看護大学学長）・石川秀也（北海道医療大学看護福祉学部・臨床福祉学科長）・神田直樹（札幌医科大学附属病院 ICU・急性重症患者看護専門看護師）・川岸正和（特別養護老人ホーム静苑ホーム・生活相談員）／研究発表／懇親会

参加費●会員・非会員ともに 2000 円、学部学生無料、懇親会 3500 円別途

問い合わせ●大会実行委員会

FAX 0133-23-1426

E-mail gakkai9kai@hoku-iryo-u.ac.jp

URL <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai>

日本家族看護学会 第 19 回学術集会

日時●9 月 8 日（土）・9 日（日）

会場●学術総合センター（東京都千代田区）

テーマ●家族とレジリエンス

プログラム●会長講演「復興を支える理論——レジリエンスとその周辺」上別府圭子（東京大学）／特別講演「家族レジリエンス（Family Resilience）を強める」中村伸一（日本家族研究・家族療法学会会長）／教育講演「最近の青年期発達の変容と家族のありようをめぐる」

て」牛島定信（三田精神療法研究所所長）／シンポジウムⅠ「東日本大震災を生きる家族の理解」・Ⅱ「家族研究の方法論」／研究者公開シンポジウム「愛着と喪失 Attachment and Loss をめぐって」東京大学「こころの発達と障害の教育研究コンソーシアム」／テーマセッション／ランチョンセミナー／事例検討（事前申込制）

参加費●

（当日）会員 1 万 1000 円、非会員 1 万 2000 円、大学院生 9000 円、学生 5000 円

問い合わせ●事務局（担当：池田真理、佐藤伊織）

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 医学部 5 号館 108 東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野内

TEL 03-5841-3694

FAX 03-5841-3694

E-mail jarfn19-office@umin.ac.jp

URL <http://jarfn2012.umin.jp>

日本小児がん看護学会 10 周年記念セミナー・講演会

日時●9 月 14 日（金）・15 日（土）

会場●東京医科歯科大学（東京都文京区）

プログラム●

9 月 14 日「イブニングセミナー」

1. リーダーナースのための小児がん化学療法講座「分子標的薬最前線」

対象●小児がん看護の臨床経験を有するメンター・リーダー・主任・看護管理者クラスの現役看護師

定員●最大 100 名

2. 小児看護専門看護師スーパーバイズによる事例検討会「広げよう小児がん看護ネットワーク☆深めよう事例への看護」

対象●小児がん看護に携わる看護師

定員●30 名

参加費●会員 6000 円、非会員 7000 円（資料代込）

9 月 15 日「記念講演会」

参加費●会員 5000 円、非会員 6000 円

申し込み●ホームページより

問い合わせ●事務局

E-mail 10thseminar@jspon.com

URL <http://www.jspon.com>

国際看護研究会 第 15 回学術集会

日時●9 月 15 日（土）

会場●国際協力機構 JICA 横浜（横浜市中区）

テーマ●在日外国人と災害

プログラム●基調講演「在日外国人と災害」伊藤尚子（日本赤十字看護大学国際・災害看護学）／シンポジウム「異文化で体験する災害」／一般演題

参加費●

会員（～8/24）2500 円、（8/25～）3000 円

その他（全期間）学生会員 1500 円、非会員 4000 円、非会員学生 2000 円

※弁当代 1000 円（希望者のみ）、寄付金 1 口 1000 円（有志のみ）

問い合わせ●事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字看護大学 国際・災害看護学内

E-mail 15.kokusaikango@gmail.com

URL <http://kokusaikango2012.web.fc2.com/>

日本ルーラルナース学会 第 7 回学術集会

日時●9 月 15 日（土）・16 日（日）

会場●長野県看護大学（長野県駒ヶ根市）

テーマ●里山の「暮らしといのち」を支える看護

プログラム●講演「山間地域における認知症ケアと看とり——グループホームかあちゃん家の取り組み」戸谷美知子（長野市鬼無里グループホームかあちゃん家管理者）／シンポジウム「里山の「暮らしといのち」を支える看護活動」牧野鈴美（長野県立阿南病院副院長兼看護部長）・伊藤みほ子（下伊那赤十字訪問看護ステーション管理者）・小林理恵子（伊那市国保美和診療所看護師長）／交流集会「山間地域における生活習慣病予防・介護予防」「へき地の保健医療を担う看護職の確保と支援」「里山における遠隔医療／ケアの活用」／エクスカーション「長野県上伊那地域の歴史・文化、地元食材で作る郷土料理の体験」

参加費●

（事前申込）会員 3500 円、非会員 4500 円、大学院生を除く学生 1000 円

（当日申込）会員 4500 円、非会員 5500 円、大学院生を除く学生 1000 円

問い合わせ●事務局

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂 1694 長野県看護大学看護学科内

E-mail jasrun2012@nagano-nurs.ac.jp

URL <http://www.jasrun.org/>

第17回聖路加看護学会学術大会

日時●9月22日(土)

会場●聖路加看護大学(東京都中央区)

テーマ●連携の先に見えるもの——つなぐ看護を科学する

プログラム●大会長講演「超高齢社会に立ち向かう看護が持つべき技——退院支援から考える Transition Support」山田雅子(聖路加看護大学看護実践開発研究センターセンター長)／特別講演「緩和ケアをつなぐ革新的実践と研究について——大型研究プロジェクト(OPTIM)リーダーの経験から」森田達也(聖隷三方原病院緩和支援治療科部長)／ランチョンセミナー1「持ち上げない、痛くない、こわくない看護の技」保田淳子(日本ノーリフト協会代表)・2「公開コンサルテーション——退院支援困難事例」宇都宮宏子(京都大学医学部附属病院地域医療ネットワーク事業部)／示説発表／市民公開シンポジウム「あなたはどんな医療と介護を選びますか——Transition Support(移行支援)のあり方を考える」

参加費●

(～9/5)会員 5000円, 非会員 6000円
(9/5～)会員 6000円, 非会員 7000円
大学院生 3000円, 学部生は無料

【演題募集】

申込資格●共同発表者を含め学会員であること

発表形式●ポスター発表

申込方法●「演題申込」と「抄録原稿」を同時に提出 ※詳細はHP参照

問い合わせ●事務局

〒104-0045 東京都中央区築地3-8-5 聖路加看護大学2号館5階

E-mail slnr17@slcn.ac.jp

URL http://slnr17.umin.jp

乳幼児保健学会第6回学術集会

日時●9月29日(土)

会場●東京医科歯科大学M&Dタワー(東京都文京区)

テーマ●乳幼児精神保健と親子の関係性支援

プログラム●「Infant mental health in Finland: Public health nurses supporting families with small children in child health clinics」Eija Paavilainen(フィンランド Tampere 大学教授)／シンポジウム「育児支援における連携」

宮本真巳(東京医科歯科大学大学院精神保健看護学教授)・大久保功子(同リプロダクションヘルス看護学教授)・廣瀬たい子(同小児・家族発達看護学教授)

参加費●

(～8/31)会員 3000円, 非会員 3500円
(9/1～)会員 3500円, 非会員 4000円
学生 2000円

問い合わせ●東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 小児・家族発達看護学分野

E-mail jaih0929@gmail.com

URL http://www.tmd.ac.jp/gradh/cfn/jaih/home.htm

第17回日本糖尿病教育・看護学会学術集会

日時●9月29日(土)・30日(日)

会場●国立京都国際会館(京都市左京区)

テーマ●糖尿病重症化予防

プログラム●会長講演／特別講演／教育講演／シンポジウム／特別企画／一般演題／交流集会／他

参加費●

(～8/1)会員 8000円, 非会員 1万円, 大学院生を含む学生 4000円
(当日)会員 1万円, 非会員 1万2000円, 大学院生を含む学生 5000円

問い合わせ●運営準備室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階 日本コンベンションサービス株式会社

TEL 03-3508-1214

FAX 03-3508-1302

E-mail 17jaden@convention.co.jp

URL http://www2.convention.co.jp/jaden17

東京女子医科大学看護学会第8回学術集会

日時●10月6日(土)

会場●東京女子医科大学弥生記念講堂(東京都新宿区)

テーマ●探究しよう 看護のわざ——日々の実践から達人のわざまで

プログラム●会長講演「フィリピン先住民にみるケアの原点」下平唯子(東京女子医科大学看護学部成人看護学教授)／シンポジウム「達人から教わる看護のわざ」小山珠美(東名厚木病院 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士)・川名典子(杏林大学医学部附属病院看護部 精神看護専門看護師)・

近藤まゆみ(北里大学病院看護部 がん看護専門看護師)・山元由美子(東京女子医科大学看護学部基礎看護学教授)／サテライトセミナー「看護師のスキルアップに向けた教育を考える」／ミニ教育セミナー「日々の実践力を高めよう」／口演・示説／特別講演「TE-ARTE(て・あーて)のわざ」尾崎フサ子(佐久大学看護学部教授)／特別企画「在宅で健やかに生きるためのわざ」秋山正子(白十字訪問看護ステーション統括責任者)

参加費●

(～8/31)会員 3000円, 非会員 4000円, 大学院生 2000円, 学生 1000円
(当日)会員 4000円, 非会員 5000円, 大学院生 3000円

問い合わせ●事務局

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学看護学部内

FAX 03-3341-8832

E-mail nrc-08.bk@twmu.ac.jp

URL http://www.nrc.twmu.jp/

聖路加看護大学看護実践開発研究センター2013年度認定看護師教育課程研修生募集

教育期間●2013年6月1日～2014年2月28日(9か月間)

※毎週、金・土曜日を中心に開講、ただし、共通科目および実習は、月～金曜日。

定員●不妊症看護コース15名、がん化学療法看護コース30名、訪問看護コース15名
学費●入学金10万円、授業料80万円※実習費含む

出願期間●2012年8月20日(月)～8月31日(金)消印有効

検定料●5万円(郵便局「普通為替証書」)

試験日●2012年9月29日(土)筆記試験9:00～10:30、面接試験13:00～17:00

合格発表●2012年10月10日(水)14:00

募集要項および出願書類●ホームページよりダウンロード

問い合わせ●聖路加看護大学看護実践開発研究センター認定看護師教育課程事務係

〒104-0045 東京都中央区築地3-8-5

TEL 03-6226-6388(直)

E-mail rcdnp-cen@slcn.ac.jp

URL http://rcdnp.slc.ac.jp/nintei